

次世代自動車センター活動レポート Vol. 176

■ 2022年度 車両分解活動(欧州製EV)・部品ベンチマーク活動
VW ID.3 車両分解調査活動報告及び
会員企業による分解調査結果報告会 (会員限定)

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車に搭載されている部品の試作製作ができるよう、次世代自動車に含まれる技術に関する情報提供や車両分解活動を実施しています。

今回は、会員企業の皆様が電動化に伴う軽量化、振動、騒音、熱管理等のニーズ変化やそれらの加工法を捉えて次世代自動車に対応していただくため、2021年度に購入した欧州メーカー製最新EVの「Volkswagen ID.3」について、これまで行ってきた分解調査活動の成果として、電動パワートレイン部品、熱マネージメント部品、車体などの分解部品の展示と車両分解調査活動の報告会を開催しました。

また、合わせて、当センターの部品ベンチマークルームの分解展示部品の詳細調査や分析を行なった会員企業の皆様に、その調査結果の一端を発表していただきました。

- 日 時 : 令和5年3月22日(水) 10時30分～16時
- 場 所 : アクトシティ浜松 展示イベントホール
- 参加者 : 102社/176名

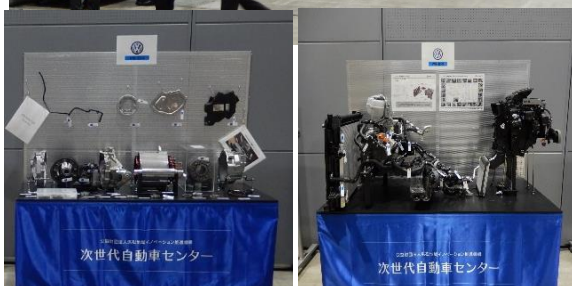
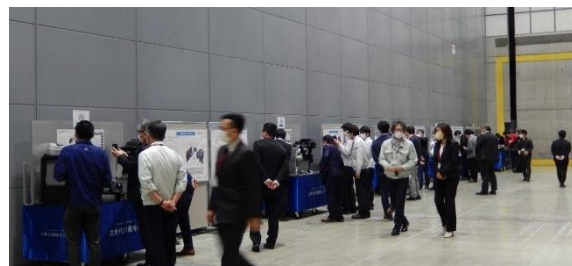
<開会>



<VW ID.3 車両分解調査活動報告>



<車両分解部品の展示>



<会員企業による分解調査結果報告会>

<㈱ジェイテクトギヤシステム 様> <宝和工業㈱ 様>

<セイコーインスツル(株) 様>



<日鉄総研(株) 様>

<㈱島津製作所 様>

<まとめ>



【参加者の声】

- ・ベンチマークルーム見学より、広いスペースで現物をじっくり観察できた。年々内容も充実しており、非常に参考になった。
- ・ローターシャフトについて、鋼管+溶接というのは興味深い。寸法表記も有難い。
- ・自社が関わっている部品のことしか知らなかったので、電気自動車全般の知識が得られて良かった。
- ・分解調査の前に多くの展示会や試乗会等が実施されていたり、途中経過報告等もあったりと時間をかけてじっくり取り組んでいることが良く分かった。
- ・分かり易い資料で、主要な技術について、ポイントをおさえた説明をしていただき、よく理解できた。特に熱マネ関係とボディ骨格は参考になった。
- ・図表、解説付きでの説明、現物展示がそろっており、理解しやすかった。
- ・ボディの強度部材としてバッテリーパックが兼ねていたり、接着剤が多用されているといったところに興味を持った。
- ・バッテリーケースとサイドシル構造の強度保証担保への材料、構造の考え方が良く分かった。熱マネジメントについては、もっと勉強の必要性を感じた。
- ・部品全体のシステム構成、個々の部品の構成部品の説明、仕様図など、非常に分かりやすかった。
- ・熱マネージメントシステムや車体関係について詳細な説明があり良かった。骨格構造断面展示が分かりやすかった。
- ・様々な技術視点で、会員企業と連携して調査活動をされていることが分かった。
- ・専門メーカーならではの視点で調査されており、大変勉強になった。
- ・各社様の深い専門知見を基にした調査の着眼点や結果に強く印象付けられた。このようなイベントを通じ、異種業界間で知見交換することがものづくりの強みになる。
- ・自動車といっても様々な技術が集まっているため、自社のみでは調査できない部分を知ることができ、とても参考になった。
- ・各社が持っている機器や装置を用いて、詳細調査されており、参考になった。